

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１４～２０℃台を示し、やや低めからかなり低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが１日１統当たり３３トンの水揚げで、前週の２．１倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシが１日１統当たり８トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり２８トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、１日１統当たり９６kgの水揚げで、前週の１．５倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり５４８kgの水揚げで、前週の７０％（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、１日１統当たり７kgの水揚げで、前週の２６％（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり３０７kgの水揚げで、前週の１．９倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、１日１統当たり２１kgの水揚げで、前週の７倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり１．４トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり３５kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが１日１統当たり１１６kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが１日当たり１８３kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（４／１９～４／２３の５日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）では、１日延１隻、総計２９箱、スルメイカを漁獲、魚体は（２５入～バラ）。（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第７－８号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>